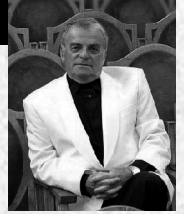


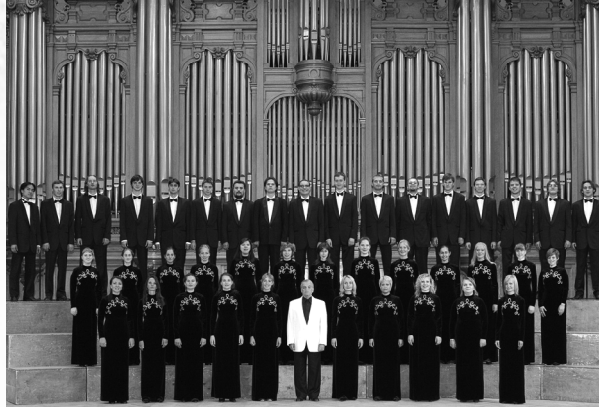
ボリス・テヴリン 指揮

国立モスクワ音楽院室内合唱団

高度で緻密な声部が綾なす世界



国立モスクワ音楽院室内合唱団は、ボリス・テヴリン教授により、1994年に設立された。この合唱団のおもなレパートリーは、現代ロシアおよび諸外国の合唱音楽である。合唱団を構成しているのは、チャイコフスキー名称国立モスクワ音楽院合唱指揮科所属の学生と大学院生。



リヴァ・デル・ガルダ国際合唱コンクール(1998年、イタリア)の金メダルとグランプリ、第1回ブラームス名称国際コンクール(1999年、ドイツ)の一等賞および金メダル、第22回ハイフナカ国際正教会音楽コンクール(2003年、ポーランド)の一等賞を獲得。2002年、同合唱団は第6回世界合唱音楽フォーラム(アメリカ)で、ロシアの合唱音楽を唯一代表。

ボリス・テヴリンの指揮の下、同合唱団は世界やロシアの多くの合唱作品を聴衆に紹介してきた。E・デニーソフ、

A・ルリエ、N・シデリニコフ、I・ストラヴィンスキー、A・シュニトケ、A・ショーンヴェルグ、D・アルジェント、V・アルズマノフ、S・グバイドウリナ、G・カンチェリ、A・クナイフェル、R・レデニョーワ、R・シチェドリソフ、K・ニューステッド、K・ペンデレツキイ、I・スヴィデル、J・タヴェナー、R・トヴァルドフスキーなどの作品である。

モスクワ音楽院合唱団は、ロシアの一流オーケストラと協力関係にある。国立アカデミー交響楽団(芸術監督:M・グレンシュテイン)、国立交響楽団「新ロシア」(芸術監督:Yu・バシメット)、モスクワアカデミー交響楽団(Yu・シーモノフ指揮)、室内オーケストラ「ムジカ・VIVA」(A・ルージン指揮)、モスクワ交響楽団(芸術監督:V・ジブ)、室内オーケストラ「モスコヴィア」(芸術監督:E・グラッチ)、指揮者ワレリー・ゲルギエフなどである。

千葉公演プログラム

第一部「ロシアの宗教音楽」

1. D. ボルトニャンスキー (1751~1825) 翻訳
合唱コンツェルトNo.32 「主よ、我が死の時を告げよ」
2. M. グリンカ (1804~1857) 「ケルビム(智天使)の歌」
3. M. バラキレフ (1837~1910) 「天使は叫べり」
4. N. リムスキー=コルサコフ (1844~1908) 「天なる神」
5. A. リヤードフ (1855~1914) 「救いの杯を受ける」
6. Yu. サフノーフスキー (1866~1930) 「ケルビム(智天使)の歌」
7. K. シュヴェードフ 「天よりの主を讃め称えよ」
8. V. カリンニコフ (1870~1927) 「平和の恵み」
9. S. ラフマニノフ (1873~1943) 「神よ わが魂を祝福し給え」
ソリスト: ラリーサ・コスチュク
10. P. チェスノコフ (1877~1944) 「わが祈りは改まる」
ソリスト: ラリーサ・コスチュク

第二部「ソビエト大衆歌曲」

1. V. ソロヴィヨフ=セドイ (1907~1979)
「同じ隊の仲間は今どこにいる?」 詞 A. ファチャーノフ
2. K. リストーフ (1900~1983)
「壕舎の中で」 詞 A. スルコーフ
3. M. ブランテル (1903~1990)
「前線の森にて」 詞 M. イサコフスキー
4. M. ブランテル
「我が愛しき女(ひと)よ」 詞 E. ドルマトフスキー
5. A. ノヴィコフ (1896~1984)
「おゝ、道よ」 詞 L. オシャーニン
6. Ya. フレンケリ (1920~1989)
「ロシアの草原」 詞 I. ゴッフ
7. Ya. フレンケリ
「鶴」 詞: R. ガムザトフ 訳: N. グレブネフ
8. I. ドナエフスキー (1900~1955)
「君はどうなのか」 詞: M. イサコフスキー
9. I. ドナエフスキー
「鳩を飛ばせ!」 詞: M. マツソフスキー
10. K. ヴィリボア 「水夫たち」
ソリスト: V. エフィーモフ、M. ダヴィドフ
11. V. ソロヴィヨフ=セドイ
「陽の照る野原で」 詞 A. ファチャーノフ
12. K. モルチャーノフ (1922~1982)
「こんなにも金色の灯が」 詞 N. ドリゾー
13. M. ブランテル
「黒い瞳のコサック娘」 詞 I. セリヴィンスキー
ソリスト: ラリーサ・コスチュク
14. M. キュッス
「アムールのさざ波」 編曲: VI. ソコロフ
ソリスト: ミハイル・ダヴィドフ